

○石川ブロックでは、当面の治水目標に従い、河道拡幅、河床掘削・堤防嵩上げ等または耐水型都市づくり等による洪水対策を実施します。太井川、水越川を除き、大乘川、梅川、佐備川、天見川では、時間雨量50ミリ程度の降雨、石川、飛鳥川、石見川では時間雨量65ミリ程度の降雨、千早川、宇奈田川、加賀田川、原川では時間雨量80ミリ程度の降雨による洪水を対象に整備を行います。



凡例

- 河道改修
- 貯留施設(計画)
- 貯留施設(整備済)
- ▲ 河川カメラ
- 水位計
- 砂防堰堤等
- 流域界

大阪府域の流域関連自治体(5市2町1村)  
河内長野市、富田林市、柏原市、羽曳野市、  
藤井寺市、太子町、河南町、千早赤阪村



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・河道拡幅、河道掘削【府】
  - ・貯留施設整備【府】
  - ・ため池及び農業用施設等の治水活用【府・町・民間】
  - ・既存貯留施設の治水活用【府・町】
  - ・砂防施設の保全【府】
  - ・河道内堆積土砂の撤去
  - ・下水道等排水施設の整備
  - 【府、羽曳野市、藤井寺市、富田林市】
  - ・治山施設・森林の整備及び保全

- 被害対象を減少させるための対策
- ・土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度
  - ・立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ① 情報伝達、避難計画等に関する事項
- ・洪水浸水想定区域の指定拡大【府】
  - ・想定最大規模の雨水出水に係る浸水想定区域図等の作成と周知【府】
  - ・ホットラインの運用(洪水・土砂)【府、市町村】
  - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認(広域タイムライン)(洪水)【府・市町村・民間】
  - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認(市域・町域タイムライン)(洪水・土砂)【市町村】
  - ・避難情報発令の対象区域、判断基準等の確認(コミュニティタイムライン)(洪水・土砂)【市町村】
  - ・水害危険性の周知促進【府】
  - ・ICTを活用した洪水情報・土砂災害情報の提供【府・気象台】
  - ・隣接市町村における避難場所の設定(広域避難体制の構築)等【府・市町村】
  - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施(洪水・土砂災害)【府、市町村】
  - ・システムを活用した情報共有【府、市町村】
  - ・水防関係者間での連携、協力に関する検討【市町村】
  - ・市町村庁舎や災害拠点病院等の施設関係者への情報伝達の充実【府・市町村】
  - ・市町村庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実(耐水化、非常用発電機等の整備)【市町村】
  - ・排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等【府、市町村】
  - ・浸水被害軽減地区の指定【府、市町村】
  - ・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保【府・市町村】
  - ・施設管理の高度化の検討【府】
- ② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等
- ・水害ハザードマップの改良、周知、活用(洪水・土砂)【府、市町村】
  - ・浸水実績等の周知【府、市町村】
  - ・災害リスクの現地表示【市町村】
  - ・防災教育の推進【府、市町村】
  - ・地区単位土砂災害ハザードマップの作成促進【府、市町村】
  - ・水防に関する広報の充実(水防団確保に係る取組)【府、市町村】
  - ・水防訓練の充実【府、市町村】

〔測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 4JIS 703〕

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

※下水は市町村ごとに対象降雨が異なります。

# 大和川水系石川ブロック 流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～金剛葛城山系の麓の市街地を守る流域治水の推進～

Ⅰ 石川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府・市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】 住宅密集地での重大災害の発生を未然に防ぐため、河道改修に着手。

【中期】 河道改修の推進。

【中長期】 河川別の目標時間雨量対策の達成とため池の治水活用を完了。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道改修・耐水型整備	大阪府	大乗川外6河川着手 宇奈田川概成	石川稼働改修区間概成 千早川外3河川第1区間概成	石見川外7河川概成 石見川外2河川着手 千早川外3河川第2区間着手
	洪水調節施設の整備	大阪府	調査・検討		
	河道内の堆積土砂除去	大阪府		定期点検による継続監視の実施及び堆積状況に応じ適宜除去実施	
	下水道等排水施設の整備	大阪府、羽曳野市、藤井寺市、富田林市	検討1/30⇒1/200		
	大和川治水計画の更新	国土交通省			
	砂防堰堤の築造	大阪府			保全対象の状況により適宜事業化
	ため池及び農業用施設等の治水活用	大阪府、市町村、民間			
被害対象を減少させるための対策	土砂災害特別警戒区域内の既存住宅に対する補助制度	大阪府、富田林市、河内長野市、羽曳野市、太子町、河南町、千早赤阪村、柏原市	調査・検討		
	土地利用誘導(立地適正化計画)	大阪府、河内長野市、富田林市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、太子町、河南町、千早赤阪村			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・市町村、地域タイムラインの策定 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成 等	大阪府、河内長野市、富田林市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、太子町、河南町、千早赤阪村、民間、気象台	洪水浸水想定区域指定拡大完了(R6年度)		
	②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等 ・ハザードマップの改良・周知・活用 ・災害リスクの現地表示 等	大阪府、河内長野市、富田林市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、太子町、河南町、千早赤阪村		雨水出水浸水想定区域図作成・公表(R7年度)	

# 大和川水系石川ブロック 流域治水プロジェクト【事業効果の見える化】

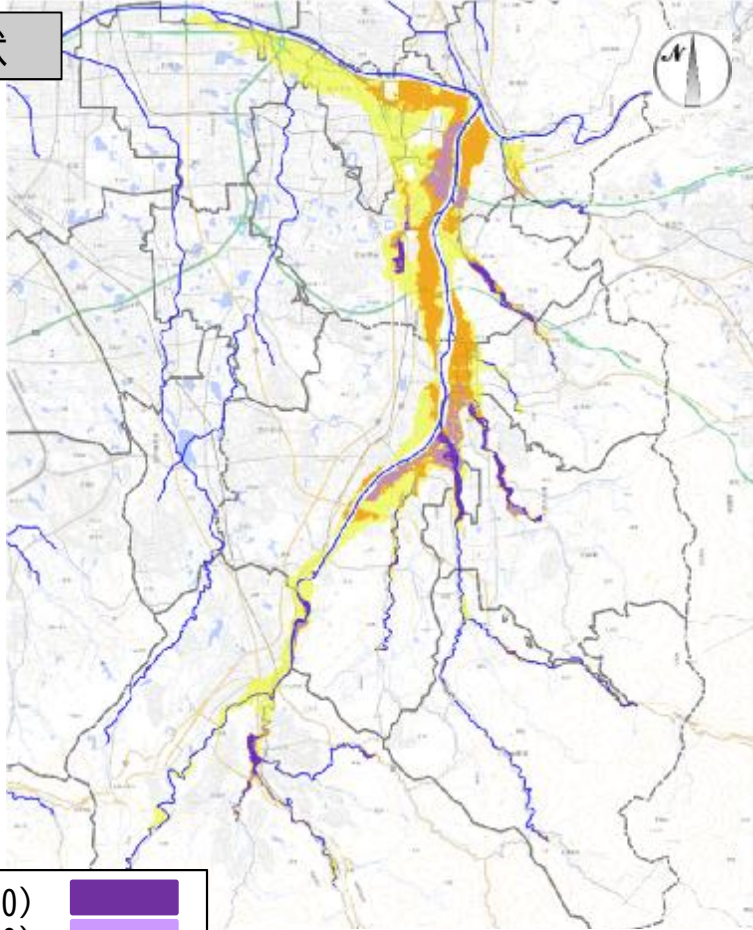
～金剛葛城山系の麓の市街地を守る流域治水の推進～

## 河川整備等による効果

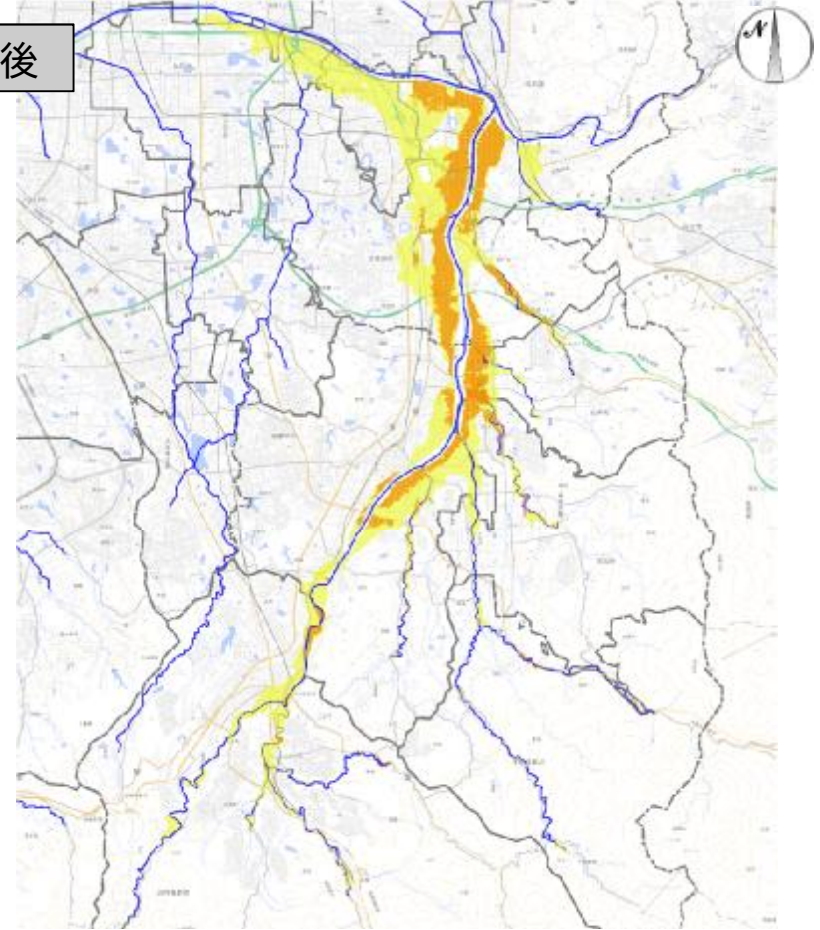
石川、飛鳥川、石見川、大乘川、梅川、佐備川、天見川：河道改修のほか、梅川上流、佐備川上流、石見川における耐水型整備により、時間雨量65ミリ程度（1/30）の降雨に対し、家屋床上浸水を解消

千早川、宇奈田川、加賀田川、原川：河道改修のほか、加賀田川上流における耐水型整備により、時間雨量80ミリ程度（1/100）の降雨に対し、家屋床上浸水を解消

現状



整備後



高頻度 (1/10) 中頻度 (1/30) 低頻度 (1/100) 想定最大規模



※この図は、1/10、1/30、1/100の確率年及び想定最大規模の降雨により想定される、府管理河川の外水氾濫の浸水範囲である。

※「現状」の図は、氾濫シミュレーション時点（H30）の施設整備状況において想定される浸水範囲を示したものである。

※「整備後」の図は、河川整備計画の整備メニュー実施後において想定される浸水範囲を示したものである。なお想定最大規模については、施設整備の効果を考えていない。

# 大和川水系石川ブロック 流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～金剛葛城山系の麓の市街地を守る流域治水の推進～

当面の治水目標に対応した河川の整備



※現在精査中  
(令和4年度末時点)

農地・農業用施設の活用



※現在精査中  
(令和4年度末時点)

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等  
1施設

(令和4年度末時点)

山地の保水機能向上  
および  
土砂流木災害対策



治山対策 1箇所

(令和4年度実施)

立地適正化計画に  
おける防災指針の作成



※現在精査中  
(令和4年度末時点)

避難のための  
ハザード情報の整備



洪水浸水  
想定区域 9河川  
雨水出水  
浸水想定区域 0団体

(令和4年度末時点)

高齢者等避難の  
実効性の確保



避難確保  
計画 46施設  
洪水  
土砂  
高潮 9施設  
避難訓練 0施設

(令和4年9月末時点)

## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 河道拡幅・河道掘削の取組

時間雨量50mmの降雨による床下浸水の発生と時間雨量65mm程度の降雨による床上浸水の発生を防ぐため河道改修を行っています。



梅川  
整備区間は中之橋  
下流から大宝橋上流  
の0.6km区間の河道  
拡幅、河床掘削を  
行っています

大乗川  
整備区間は石川合  
流点から近鉄長野線  
橋梁下流の1.9km区  
間で河床の切り下げ  
を行っています



## 被害対象を減少させるための対策

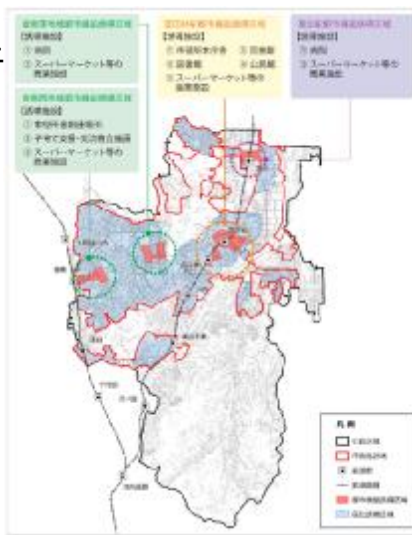
### 富田林市の立地適正化計画の取組

富田林市では、災害リスクの考えられる区域は、居住誘導区域に含めないように設定している。

(災害リスクの考えられる区域)

- ・土砂災害警戒区域
- ・浸水想定区域

(想定最大規模降雨条件 [概ね年超過確率1/1000年]の浸水想定が3m以上(2階以上に浸水が生じ、自宅避難が困難とされる。)の区域)等



## 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

### コミュニティタイムライン作成の取組

河内長野市では令和4年11月に2地区においてハザードマップを活用したまち歩き及びコミュニティタイムラインの勉強会を行い災害に対する住民の災害に対する意識向上を図った。

コミュニティタイムライン勉強会の様子  
(鳩原地区)



まち歩きの様子  
(下里地区)